

全国市議会議長会欧州都市行政調査報告書（概要）

議員 吉原日出雄

視察の目的

欧州各都市における地方自治の実態・行政施策の実情について調査研究を行い、今後の市政振興に資するとともに、訪問先の関係者との交流や意見交換を通じて相互の理解と認識を深め、国際親善に寄与することを目的として、全国市議会議長会主催の平成21年度欧州都市行政調査団（14市20名編成）に参加し、フランス、スウェーデン、ドイツの欧州3か国の諸都市を訪問・調査しました。

以下、その概要についてご報告いたします。

視察期間 平成21年7月1日～7月9日（9日間）

視察都市 フランス : パリ
 スウェーデン : ストックホルム
 ドイツ : ハイデルベルク

日 程

月 日 曜	発着地/滞在地名	視 察 地	摘 要
7月1日 (水)	東京（成田2）発 パリ着 《フランス》		所要時間：12時間35分 (時差：-7時間)
7月2日 (木)	パリ	(財)自治体国際化協会パリ事務所 オワーズ混成事務組合の廃棄物処理センター	フランス、スウェーデン、ドイツの地方自治制度についてのレクチャー。 テーマ：都市環境整備（リサイクル対策） リサイクルについて先進的な取り組みを行うフランスでは、自治体、事業者、国が役割を分担し、事業の効率を上げコストを抑える仕組みを採っている。市町村が容器廃棄物を集め、容器メーカーが費用を税金の形で負担する「エコアンバラージュ方式」における自治体の役割について、オワーズ県のコンピエーニュ市にあるオワーズ混成事務組合の廃棄物処理センターを訪問し調査。

7月3日 (金)	パリ	イヴリー・シュル・セーヌ市議会	パリの衛星都市である同市は、歴史的建造物の保全に努め、都市景観の美しい街として定評がある。また、市民参加（特に若者）を促進する各種施策を積極的に展開している。同市の市民参加のまちづくり、及び景観保全政策と議会制度について調査。 午前：景観保全政策と議会制度について 午後：関連施設訪問
7月4日 (土)	パリ発 ストックホルム着 《スウェーデン》		所要時間：2時間30分 (時差：-7時間)
7月5日 (日)	ストックホルム	ストックホルム市国立公園・ユールゴーデン	テーマ：自然環境保護 世界で初めて都市内の国立公園として認定された「ユールゴーデン」を訪問し、市民団体、自治体、政府が一体となったエコパークにおける自然環境保護について調査。
7月6日 (月)	ストックホルム発 フランクフルト着 ハイデルベルク着 《ドイツ》	ストックホルム市議会	福祉、環境、教育、ITの先進的な政策を取り入れ、持続可能な都市として世界中から評価の高いストックホルム市を訪問し、同市の環境を中心とした政策と議会制度について調査。 午前：交通政策、循環型都市づくりと議会制度について 午後：関連施設訪問 所要時間：2時間10分 (時差：-7時間)
7月7日 (火)	ハイデルベルク	ギーセン市議会	BID（ビジネス・インフラ・ディストリクト）導入の成功例として評価の高いギーセン市を訪問し、官民パートナーシップによる地域活性化策と議会制度について調査。 午前：地域活性化策と議会制度について 午後：関連施設訪問
7月8日 (水)	ハイデルベルク フランクフルト発	ヘッセン地区疾病金庫	テーマ：医療保険制度改革 2009年の医療保険制度改革により、競争が激化する地区疾病金庫（AOK）を訪問し、AOKの生き残りに向けた施策について調査。 所要時間：11時間20分
7月9日 (木)	東京（成田）着		